

1 プロジェクトタイトル

■熊取町文化ホール・公民館整備を通じた文化振興

2 キャッチコピー

■すべての住民があらゆる場面で出会い、学び、育ちあう、文化創造施設の整備

3 目標金額

■100,000,000 円

4 タグ設定

■「文化振興」、「教育」、「子育て」、「コミュニティ」

5 SDGs

■「4.質の高い教育をみんなに」、「11.住み続けられるまちづくりを」、「17.パートナーシップで目標を達成しよう」

6 プロジェクト概要

本町は、大阪都心部から約 30 kmの場所に位置し、豊かな自然に恵まれたベッドタウンとして発展してきました。

総面積 17.24 km²のコンパクトさゆえに、活発な地域コミュニティが醸成されており、持続可能で「永く楽しく暮らせるまち」を目指し、自治会や住民団体をはじめ、町内に立地する 3 大学・1 研究所等との取組において、人材や資源などさまざまな分野で相互に有効活用しながら、公民連携による魅力あるまちづくりを進めています。

本町では現在、令和 6 年 4 月オープンに向け、文化ホールの新築と公民館の大規模改修工事に着手しています。

新たな文化ホール・公民館は、「すべての住民があらゆる場面で出会い、学び、育ちあう、文化創造施設」を基本コンセプトとしており、「文化振興企画専門員」のポストを新設し、住民の皆様に喜んでもらえる文化公演の企画・実施と、併せて住民主体の音楽団の創設にも取り組みます。

これらにより、住民が質の高い芸術文化に触れる機会を創出し、豊かな創造力や思考力を育む機会をつくり出すとともに、将来の文化芸術の担い手を本町において育成できるよう、より一層の文化振興を図る方針です。

7 なぜ寄附を募るのか

プロジェクトでは、昭和 45 年建設の町民会館ホールを取り壊し、新たに文化ホールを新築するとともに、公民館の大規模改修を実施します。

文化ホールは、優良な音場環境を実現するよう設計されています。

多彩な音楽公演をはじめ、各種発表会、演劇、ダンスや講演会など、多目的な利用が可能になり、すべての住民に、日常の中で良質な芸術文化に接し、豊かな感性を磨く機会を提供します。

公民館は、子どもや学生、社会人から高齢者まで、あらゆる世代の学びや体験を支える施設を目指しています。

具体的には、設計に先駆けて実施したアンケート結果を基に、これまでも公民館を利用していた方々はもとより、若い人たちのニーズにも応えられるよう、たとえばダンスの練習に適した部屋など、さまざまな機能を持たせた改修を進めています。

ただ、工事だけで約15億円、備品・楽器購入に約1億円かかる費用のうち、補助金を活用しても、およそ半分は地方債で用意することになるため、少しでも企業の方々の支援をいただきたいと考え、企業版ふるさと納税の活用を決めました。

まちの子どもたちがこれまで体験できなかった、良質な芸術に触れる機会の創出のためにも、お力添えをご検討ください。

8 プロジェクトのポイント

「すべての住民があらゆる場面で出会い、学び、育ちあう、文化創造施設」というコンセプトに基づき、文化ホールの新築と公民館の大規模改修の整備事業に取り組みます。

1. 文化ホールのグランドピアノや備品・音響設備等の整備

上質な楽器・音響設備により、一流の演奏家に「演奏したい」と思ってもらえるような設備と空間を整えます。

2. 公民館の備品整備

学びや交流・情報交換等の拠点に相応しい備品等を整備して、これまでの利用者に加え、学生や若者も利用したくなる施設をつくります。

3. 開館記念式典やこけら落とし公演の開催

オープンに際して「開館記念式典」と「こけら落とし公演」を開催します。

4. 住民主体の音楽団の創設

住民主体の音楽団の創設を目指します。また、昨年度開催しました和太鼓講座の講座生が中心となった、和太鼓グループが活動を行っています。

これらを実現することで、住民が主体的に質の高い文化芸術活動に関わることのできる、文化芸術活動の拠点をつくりあげます。

9 困りごと・課題

文化振興を図っていくうえでは、ハード面の整備と併せて、ソフト面を充実させることが重要だと考えています。

ハード面では、文化ホールが完成することで、これまで実現できなかった小中学校の芸術鑑賞会の実施などで、児童・生徒が“ホンモノの文化芸術”に接する機会の提供が可能になります。

一方、現状では若年世代の利用率が低いことが課題となっています。

こちらについてはソフト事業を充実させ、若年世代が足を運びたいくなるようなコンサート・演奏会を企画し、利用率の向上を図ります。

そのための施策としては、町では、イベント・コンサートの企画運営について、豊富な実績と専門的な知識やアイデアを持った「文化振興企画専門員」を配置し、若年層にも魅力のある催しを企画してもらう計画です。

さらに、質の高い音響・舞台装置に見合った演出を可能にするため、イベント時に照明や音響をオペレーションする専門技術者も配置する計画を立てています。

これらにより、本町の住民、なかでも将来を担う子どもたちが、ホンモノの文化芸術に触れることのできる施設を実現する方針です。

10 メッセージ

このプロジェクトでは、文化ホール・公民館の整備をきっかけに、基本コンセプトに掲げた「すべての住民があらゆる場面で出会い、学び、育ちあう、文化創造施設」を目指し、より一層の文化振興を図っていくことが真の目的といえます。

このプロジェクトについてふるさとコネクトを通して広くPRすることで、全国の企業の皆様に本町のことや取り組みの内容を知っていただき、さらに本町とのつながりを持っていただくことができれば、新たな価値観の創出や取り組みが生まれ、より一層の文化振興に結びつくと期待しています。

将来、本町で育った子どもたちが、文化芸術の分野において、本町のみならず、日本中、また世界中に明るい未来をもたらすことを期待しています。

企業の皆さまのご支援を、どうぞよろしくお願いいたします。